下妻市のおもてなし

たくさんの皆さんが、心のこもった「おもてなし」で、選手や観客をお迎えしました。そこには大会運営に欠くことができない「市民の力」がありました。

特産品ＰＲ・ふるまい

会場のおもてなしコーナーでは、下妻産の梨（ＪＡ常総ひかり協賛）をはじめ、ポークジャーキー、梨のフィナンシェ、無料ドリンクなどが市民ボランティアの協力によってふるまわれ、来場者をもてなしました。

学校応援・市民応援団

選手に熱いエールをと、市内小中学校の児童生徒約 1,600 名と青少年を育てる下妻市民の会による「国体盛り上げ応援団」約 800 名が結成され、各会場では選手たちに温かい声援が送られました。

市民・高校生ボランティア

自治会をはじめ市内小中学校や企業、下妻市スポーツ少年団によるクリーンアップ運動や、当日は市民ボランティアを中心に清掃・美化活動が行われ、来場者には「ゴミひとつない」と評判でした。また、市内高校生によるボランティアが会場整備や放送・記録等を手伝い、それぞれが大会を支えました。

国体盛り上げ応援団として参加

市村（いちむら） 淳（じゅん） さん（古沢）

「応援席では選手の保護者達と交流ができ、同年代の子供を持つ親として、思わず感情移入して、わが子が試合に出場している気持ちで応援していました。皆で選手の名前を呼んで応援したり、感動を共有できた大会でした。」

市民ボランティアとして参加

國府田（こうだ） 聖人（まさと） さん（加養）

「中学校時代にソフトボールの部員だったこともあり、何か力になれればと参加しました。国体選手たちの懸命に戦う姿を見て、もう一度本格的にソフトボールをやりたいと、うずうずしてしまいました。再度、選手として挑戦してみようと思っています！」

セレモニーへの参加（国体ダンス・ラジオ体操）

市内保育園、幼稚園、小・中学校では国体ダンスやラジオ体操に取り組み、総合開会式（各小学校より代表 10 名が参加）やイベント等で披露。国体の開催を盛り上げました。

こんな声を頂きました！

- 下妻名産の梨が甘くて美味しかったです。会場もきれいで、地元ボランティアの皆さんのおもてなしがとても素晴らしかった！（沖縄県）
- 地元小中学生や市民の方の応援が、とっても、とっても力になりました。感謝、感謝です。（高知県）
- 初めての茨城県。自然豊かで空気が美味しかったです。地元の方々がとても温かく接してくれて嬉しかった。また機会があれば訪れたいです。（福井県）
- 交通スタッフの方々が丁寧に時間をかけて対応してくれ、不安を解消できました。今度は違う形でこちらにおじゃましてみたいと心から思いました。（岡山県）

花とのぼり旗で歓迎

市内小中学校総出で取り組んできた花いっぱい運動。会場には約 500 基のプランターを設置し、訪れた人を歓迎。また、市内生徒らが都道府県への応援メッセージを手書きしたのぼり旗 450 本を含む、歓迎のぼり旗約 900 本が下妻市建設業会・下妻市千代川建設業協会の協力により沿道や会場に掲げられました。

―閉幕―

9月28日に開幕したいきいき茨城ゆめ国体は11日間の日程を終え、10月8日閉幕しました。県内各地で繰り広げられた37競技の結果、天皇杯（男女総合成績1位）皇后杯（女子総合成績1位）共に茨城県が獲得し、総合閉会式では国体旗が来年の開催地である鹿児島県に手渡されました。

市民総参加で取り組んだ国体は、実にたくさんのボランティア、自治会、学校、競技団体、企業の皆さんが参加し、支えられた大会となりました。

スポーツを通じ、下妻市の「団結力」と「温かさ」を発信できた大会であったとともに、市民の皆さんの記憶に残る大会として閉幕することができました。

上段：総合開会式　左から天皇皇后両陛下、選手宣誓、茨城県選手団入場
下段：総合閉会式　左から天皇杯、眞子内親王殿下より皇后杯授与